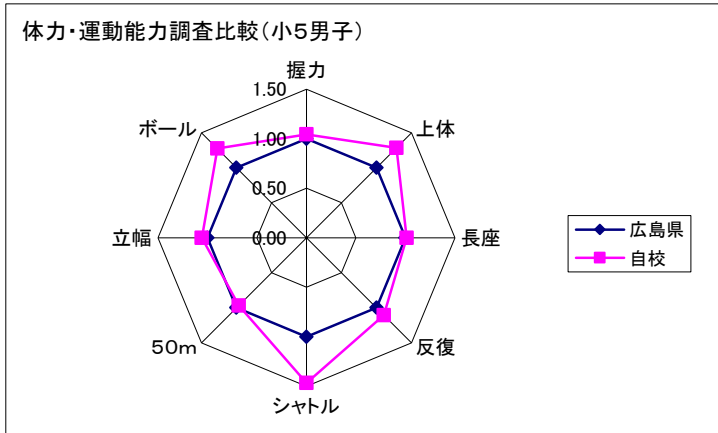
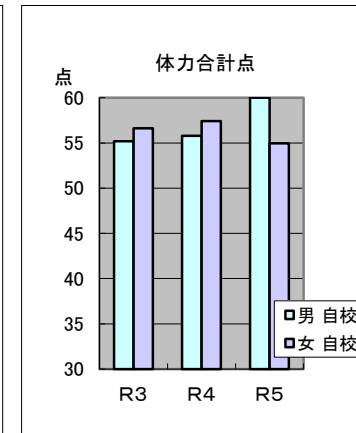
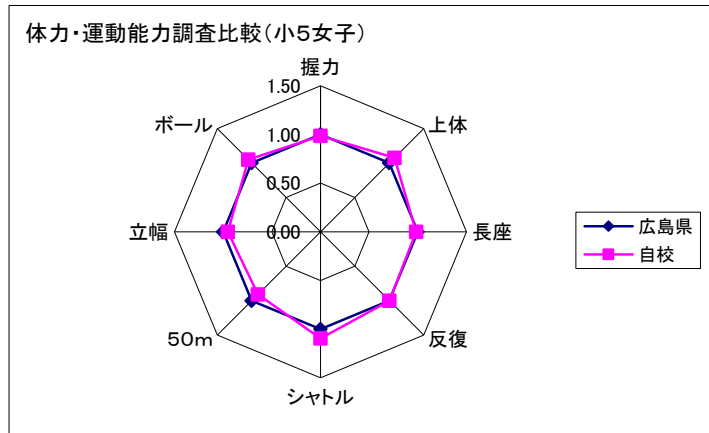


男子の体力合計点 学校 60点 県平均 54.16点



女子の体力合計点 学校 54.95点 県平均 56.22点



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

- 50m走(呉市の課題種目)
 - 前年度との平均値と比較すると、全体的に記録が伸びた児童の割合の方が多かった。しかし、全国平均や県平均には及ばなかった。
 - 学年や児童によって、日頃の運動量に差が見られることが課題としてあげられる。
- 20mシャトルラン(中学校区の課題種目)
 - ほとんどの学年が、前年度の記録を上回ることができた。
 - 男子が前年度の記録を下回っている学年が多かった。
 - 数値の高い児童と低い児童の二極化が見られた。
- 握力(自校の課題種目)
 - 全学年において、前年度の平均値を下回った。
 - 握力の測定機会を増やし、児童が自分にあった測定方法を習得したり、全教員が正しい測定の仕方をもう一度確認し指導したりする必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・体育科の学習を行う上で、運動量を確保した授業を行うよう全教員に周知し、改善を図る。 ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」に継続的に取り組み、体力の向上を図る。校内にランキング表を掲示し、児童の意欲・関心を高める。
②中学校区の課題種目 (20mシャトルラン)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育の授業の中で持久走の学習を取り入れ、全身持久力を高めていく。 ・目標をもたせ、意欲的に取り組めるようにする。 ・持久走の学習では、昨年と同様にトラックに計9個のコーンを設置し、目標を細かく設定して少しでも記録を伸ばしていくことができるようにする。
③自校の課題種目 (握力)	具体的な取組内容 ・健康観察の間など、隙間時間を使ってグーパー運動を行う。 ・体育科の準備運動において、鉄棒に10秒ぶら下がったり、うんていや登り棒を行ったりする活動を取り入れる。 ・測定器を学年ごとに回して教室に置いておき、児童の測定機会を増やしたり測定方法の習得を図ったりする。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)